

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】川崎町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
36	2009.7.31			福岡県	川崎町	18,724	36.12
構想の要約		川崎町は、廃食用油の燃料化、生ごみとし尿処理汚泥を利活用したメタン発酵によるエネルギー回収、及びメタン発酵の際に発生する液肥の農地還元により、循環型社会の構築、新たな事業による雇用の創出、環境の保全と豊かな自然の次世代への継承を目指す。また、将来的には市町村の枠を超えた広域によるバイオマス利活用の取組を検討する。					
構想に盛り込まれた事業		廃食用油利活用(バイオディーゼル燃料) 廃棄物の利活用・堆肥化事業・メタン発酵事業検討・し尿、浄化槽汚泥利用 木質バイオマスの利活用 木質を除く未利用バイオマスの利活用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他( )			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他( )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

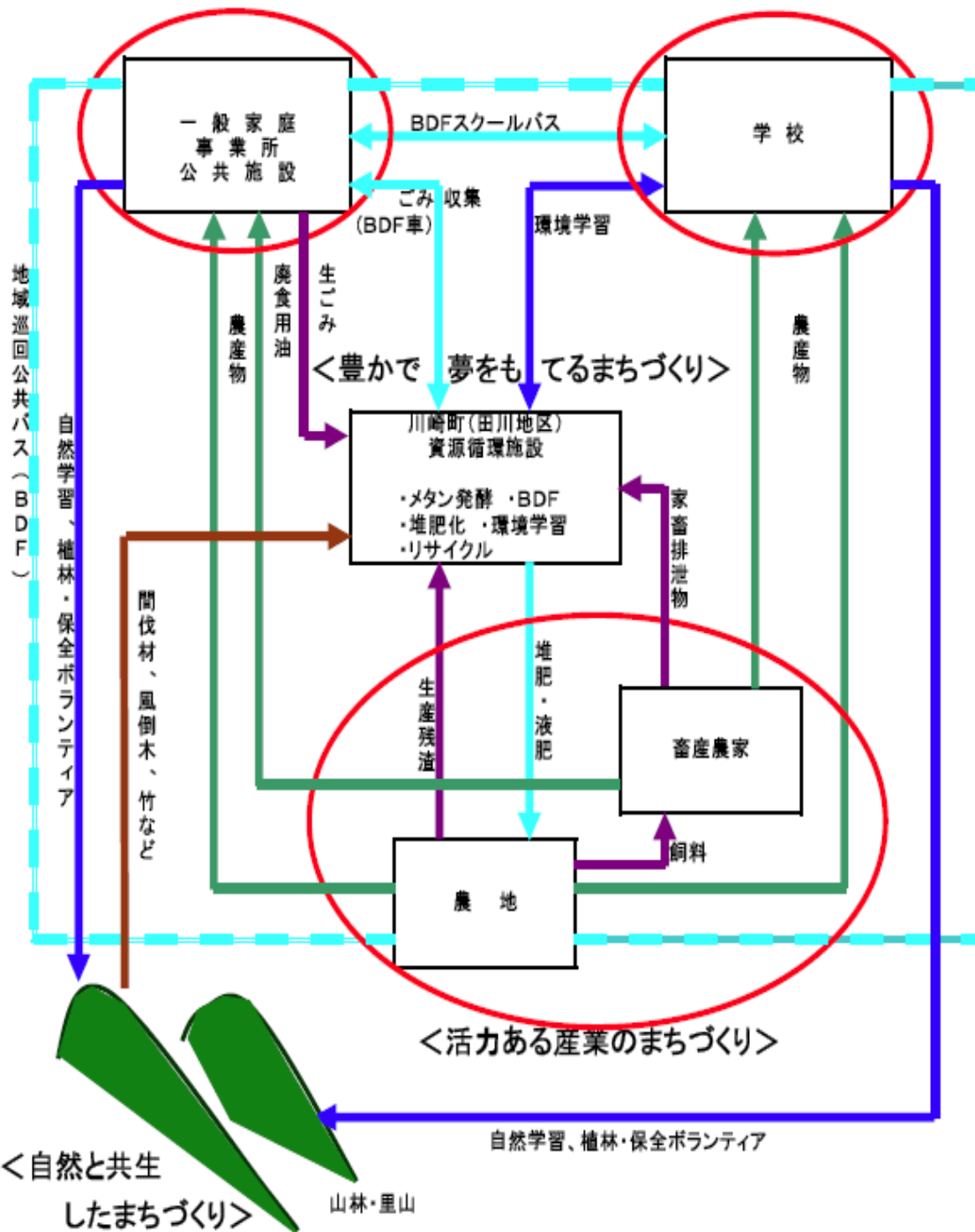
バイオマス	賦存量		変換・処理方法	目標仕向量		利用・販売	利用率 (%)
	湿潤量	炭素量		湿潤量	炭素量		
(廃棄物系バイオマス)	3,575.7	369.9		3,483.3	339.5		91.8
家畜排せつ物							
牛ふん尿	753.0	44.9	堆肥	753.0	44.9	農地還元	100.0
鶏ふん	400.0	23.9	敷材、堆肥	400.0	23.9	農地還元	100.0
生ごみ(家庭系)	882.0	39.0	メタン発酵	882.0	39.0	発電、熱、農地還元	100.0
生ごみ(事業系)	200.0	8.8	メタン発酵	147.0	6.5	発電、熱、農地還元	73.9
廃食用油	201.7	144.0	バイオディーゼル燃料化	162.3	115.9	代替燃料	80.5
し尿処理汚泥	1,139.0	109.3	メタン発酵	1,139.0	109.3	発電、熱、農地還元	100.0
(未利用バイオマス)	2,084.0	586.8		875.0	248.4		42.3
林地残材、剪定枝	155.0	34.5	チップ	35.0	7.8	代替燃料	22.6
稲わら	1,531.0	438.3	飼料、敷料、堆肥	600.0	171.8	農地還元	39.2
もみがら	338.0	96.8	敷料、堆肥	200.0	57.3	農地還元	59.2
麦わら	60.0	17.2	すき込み、堆肥	40.0	11.5	農地還元	66.9
(資源作物)	13.5	9.6		13.5	9.6		
菜種	13.5	9.6	バイオディーゼル燃料化 食用油	13.5	9.6	代替燃料、食用油	100.0

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

<人にやさしい健康と福祉のまちづくり>

<こころ豊かな教育文化のまちづくり>



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)